

第1次横手市読書活動推進計画(素案)にお寄せいただいたご意見の概要と市の考え方

1. 募集期間 令和5年12月27日(水)～令和6年1月31日(水)
2. 提出者 1名、3件

No.	項目	ご意見の概要	ご意見に関する市の考え方
1	1ページ1	市民全体の読書推進を図ることを計画の目的としているのはすばらしいと思います。大人がもっと図書館に行くようになれば、横手市はさらによいまちになるだろうなと思います。	活字離れや読書離れは、子どもに限ったことではありませんので、市民全体の読書活動の底上げを図っていくことができれば、幅広い年齢層に対する「学び」や「成長」のサポートができるのではないかと期待しております。あわせて、読書に親しむことで多くの市民の皆様へ読書の楽しさ、大切さを知っていただき、心を豊かにしていただければと願っております。
2	8ページ(2)、 10ページ(3)	ビブリオバトルや読み聞かせボランティア養成講座など、県で行っている事業を活用する方策はたいへん有意義であると思います。	ビブリオバトルへの参加は、読書へのきっかけづくりを図ることはもとより、中学・高校生が自ら考え、他者の意見を聞き、発表・対話することで、コミュニケーションやプレゼンテーション能力の向上にも良い影響を与えるものと期待しております。また、各地域で活動されている読み聞かせボランティアにつきましては、読書の楽しさを子どもから大人まで市全体に広めてくれる貴重な地域の人材であると認識しており、県の事業なども活用しボランティアの拡充を図っていきたいと考えております。
3	9ページ(1)	高校生の不読者への具体的なアプローチがあればよいと思います が、自分ではよい考えが浮かびません。	市立図書館では、Teen's(ティーンズ)コーナーを設置し、多感な時期でもある10代の皆様に読んでもらいたい本を取り揃えておりますが、不読への直接的なアプローチには至っていないのが現状です。9月14日(土)オープン予定の新公益施設Ao-naには、中学・高校生を主なターゲットとしたティーンズエリアを設置しますので、そこから市全体に波及できるような企画を模索しながら、読書活動の推進を図ってまいります。